

## 大雨、強風前後のりんどう圃場の管理情報について

大雨、強風により、りんどう圃場での浸水・冠水、倒伏、茎・枝折れ、スレ、葉のもまれによる傷み等の被害が予想されます。現在出荷中の品種、今後出荷を迎える品種に対し、被害を最小限に抑えるよう下記の対策に努めて頂きますようお願い致します。

### 事前準備（以下の番号は作業優先順）

#### ① 圃場内の排水路の点検・補修

圃場内の停滞水の排水を促し、被害を最小限にする準備として排水路の点検整備を行います。

#### ② 支柱の補強・増設、ネットの位置調整

支柱の強度不足、フラワーネットの緩みは、畦ごと倒される場合があります。張り調整も含め再点検・補強を行います。特に、畦両端の支柱に負担がかかるので、畦内側に向けて斜めにつっかえ棒を入れる、支柱増強などの対策を徹底します。(りんどう栽培マニュアル 18 ページ参照)。

#### ③ 薬剤(殺菌剤)の準備

雨あがりには直ちに薬剤散布ができるよう事前に薬剤の準備を行ってください。  
長雨が続く条件下では晴れ間を見て防除対応を行います。

### 通過後対策（以下の番号は作業優先順）

#### ① 株の引き起こし・曲りの補修

これから収穫する品種は、風雨により曲がった茎を最優先でまっすぐになるよう戻します。  
時間経過するほど曲りは治らなくなりますので、この作業を最優先で実施します。

#### ② 圃場内の排水

クラウン部分まで冠水・浸水した株は翌年の欠株原因の一因となります。速やかに圃場外へ排水するよう心がけてください。(そのために、事前準備として排水路の点検・補修は必須です)

#### ③ 薬剤による消毒

風雨による茎折れ、葉の擦れ等により、微細な擦り傷が生じ、様々な雑菌が侵入することにより病害の発生リスクが高まります。以下のいずれかの薬剤で防除を実施してください。(新植分も同様です)

●フルピカフロアブル 2,000倍(5回以内)(薬斑: -)

又は、

●ポリオキシシン AL 水溶剤 2,500倍(8回以内)(薬斑: -)

※ 殺虫剤は防除暦に合わせる

被害を最小限に抑えるよう、できるだけ対策をお願い致します。